

2005年度決算説明会



三菱自動車工業株式会社

2006年4月27日

2005年度の業績概況 及び2006年度業績見通し



市川 秀

常務取締役
(財務統括部門担当)

2005年度 業績サマリー【05/11/10公表値対比】

(単位:千台 / 億円)
【ご参考】

	FY05 05/11/10公表値①	FY05 実績②	差 ② - ①	FY04 実績
売上高	22,200 (20,300)	21,201	-999	21,226
営業利益	-140 (-140)	+68	+208	- 1,285
経常利益	-400 (-400)	-178	+222	- 1,792
当期利益	-640 (-640)	-922	-282	- 4,748
販売台数(小売)	1,370 (1,360)	1,344	-26	1,313

注:()内は、2005年1月28日公表再生計画値。販売台数はOEMを除く。

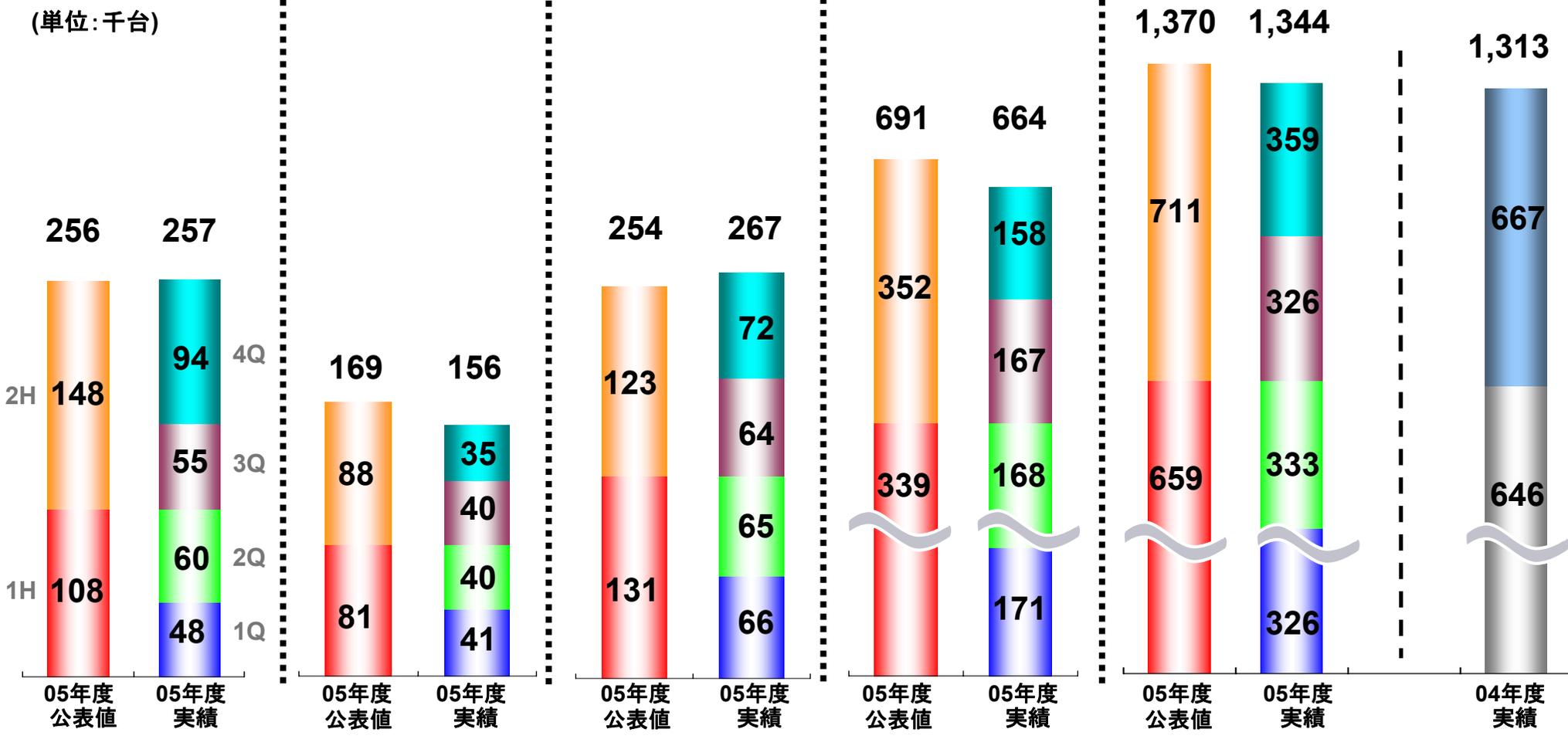
2005年度 地域別販売台数実績【05/11/10公表値対比：小売ベース】

日本 北米 欧州 アジア・その他地域 (単位:千台 / 億円) 合計

FY05実績の対公表値増減

通期	+1	-13	+13	-27	-26
----	----	-----	-----	-----	-----

(単位:千台)



2005年度 営業損益【05/11/10公表値対比】

(単位:億円)

	FY05 11/10公表値①	FY05 実績②	差 ② - ①
--	-------------------	-------------	------------

売上高	22,200	21,201	-999
-----	--------	--------	------

営業利益	-140	+68	+208
------	------	-----	------

▶ 台数・ミックス	-87
▶ 為替	+131
▶ 販売費	+42
▶ ワランティ	+79
▶ コスト低減他	+43

経常利益	-400	-178	+222
------	------	------	------

当期利益	-640	-922	-282
------	------	------	------

2005年度 営業外損益、特別損益【05/11/10公表値対比】

(単位：億円)

	FY05 11/10公表値①	FY05 実績②	差 ② - ①
営業利益	-140	+68	+208
営業外損益	-260	-246	+14
経常利益	-400	-178	+222
特別損益及び法人税等	-240	-744	-504
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 減損損失 -451 ▶ 構造改革損失等 -199 ▶ その他 -94 	
当期利益	-640	-922	-282

2005年度末 貸借対照表

(単位:億円)

	前期末 (05/3E)	当年度末 (06/3E)	増減
資産合計	15,893	15,576	-317
有利子負債合計	4,760	4,478	-282
株主資本合計	3,248	2,687	-561

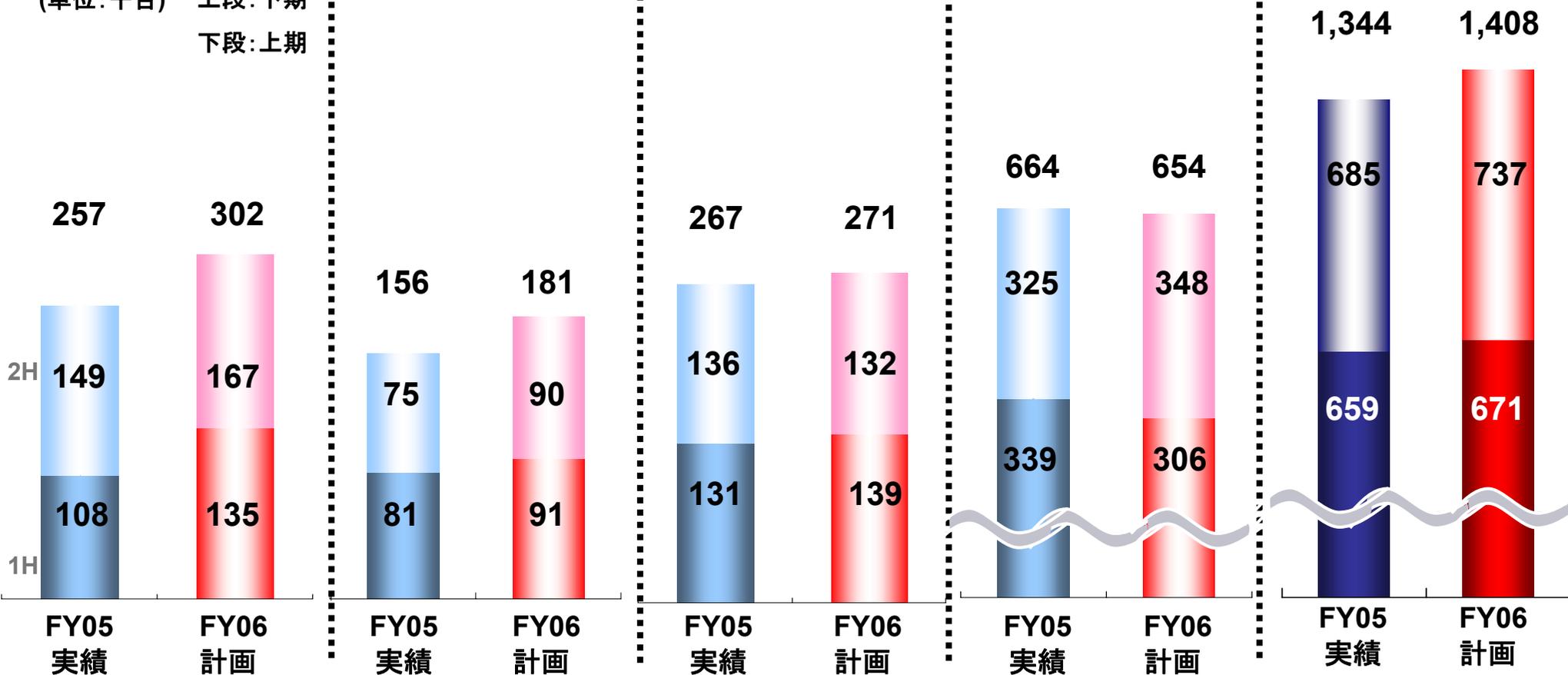
2006年度 地域別販売台数(小売ベース)

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

FY06計画の対FY05実績増減

通期	+45	+25	+4	-10	+64
----	-----	-----	----	-----	-----

(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



2006年度 業績見通しサマリー【前年度実績対比】

(単位:千台 / 億円)

【ご参考】

FY06
05/1/28公表値
(再生計画)

	FY05 実績①	FY06 計画②	差 ② - ①	
売上高	21,201	22,300	+1,099	21,600
営業利益	+68	+430	+362	+ 430
経常利益	-178	+210	+388	+ 210
当期利益	-922	+80	+1,002	+ 80
販売台数(小売)	1,344	1,408	+64	1,408

2006年度事業計画 及び再生計画の進捗状況



益子 修

取締役社長



信頼回復活動の歩み

[04.6] [04.9] [05.3.30]

[05.9.28]

[05.10.17]

[06.1.24]

過去の指示改修案件公表

過去の指示改修に係わるリコール届出完了

過去の企業風土との決別・改善施策公表

改善施策の実行・フォロー

【コンプライアンス第一】

- 役職員のリコール・品質問題に対する意識向上
- 全社的コンプライアンス浸透施策・継続実施

【安全第一】

- 指示改修の廃絶に向けたプロセス改革
- 市場措置発動の判断基準の見直しと迅速化
- 品質保証部門の強化

【お客様第一】

- 販売会社サービス部門の接客力・技術力向上
- 販売会社との連携強化

「クルマづくりの原点へ」発表

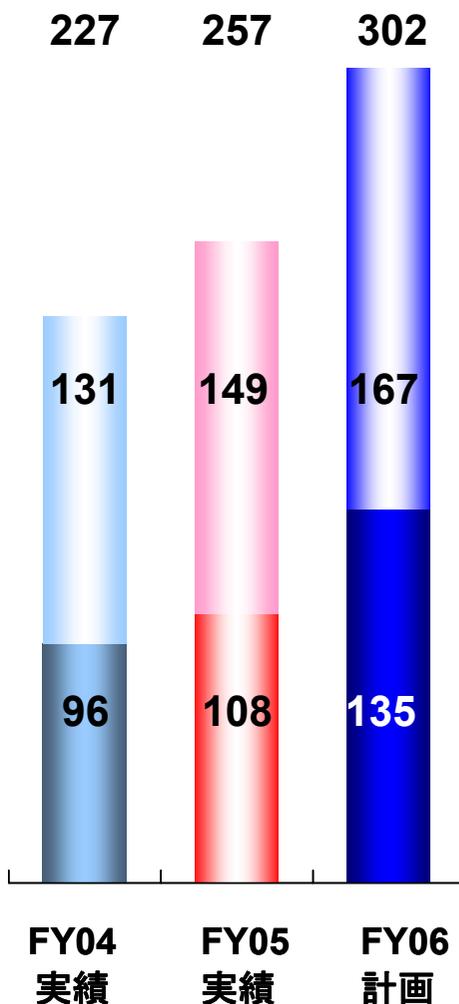
新コミュニケーションワード

「アウトランダー」発売

「アイ」発売

『クルマづくりの原点へ。』を具現化した商品の提供ができる誠実な企業へ

(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



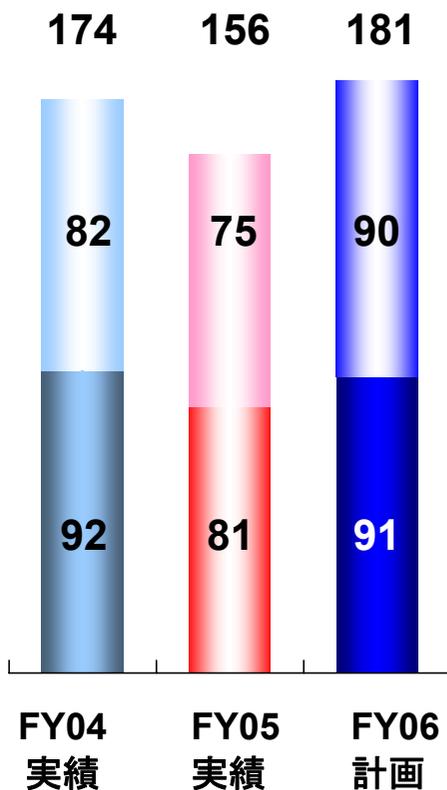
アウトランダー・アイのロングセラー化 新型3車種の投入で計画台数達成へ

～販売会社の営業力強化を継続推進～

- **新型車、特別仕様車の投入**
 - ◇ 上期：アウトランダー・アイの特別仕様車、新型eKワゴン
 - ◇ 下期：新型パジェロ、新型デリカ
- **販売会社と一体となった営業力強化施策の展開**
 - ◇ 店頭対応力強化に向けた商談トレーニングの展開
 - ◇ 営業施策と連動したサービス在庫拡大施策展開
 - ◇ 中古車事業スタンダードの導入
 - ◇ CSキャンペーンの継続展開(キビキビ・ハキハキ・ニコニコ宣言)
- **販売ネットワーク再構築**
 - ◇ 店舗リニューアルの促進
 - ◇ 連結販売子会社・部品販売会社の統合・広域化

販売の原点へ ～地域密着型の管理・販売サポート強化～

(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



■販売正常化の継続

■ディーラー営業力の強化・育成

- ◇ 地域密着型の管理・販売サポートの強化
- ◇ トレーニング強化による販売・サービス品質の向上

■一貫したコミュニケーション施策の実施

- ◇ 米国進出25周年をキャンペーンとした積極的な広告宣伝の実施
- ◇ 主要市場でのメディア露出量の大幅な向上

■販売金融の有効活用

■米国工場生産性向上

- ◇ 日米共同チームを組成、スリム化による更なるコスト削減
- ◇ 中東・ロシア・中南米向輸出開始(7月～)による稼働率向上



■ 新商品投入による集客力・販売の向上

- ◇ 新型エクリプススパイダー（06/4月～）
- ◇ 新型アウトランダー〈日本製〉（06/11月～）
- ◇ 新型ランサー〈日本製〉（07/3月～）
- ◇ ギャラン等特別仕様車の連続投入（06/4月～07/3月）

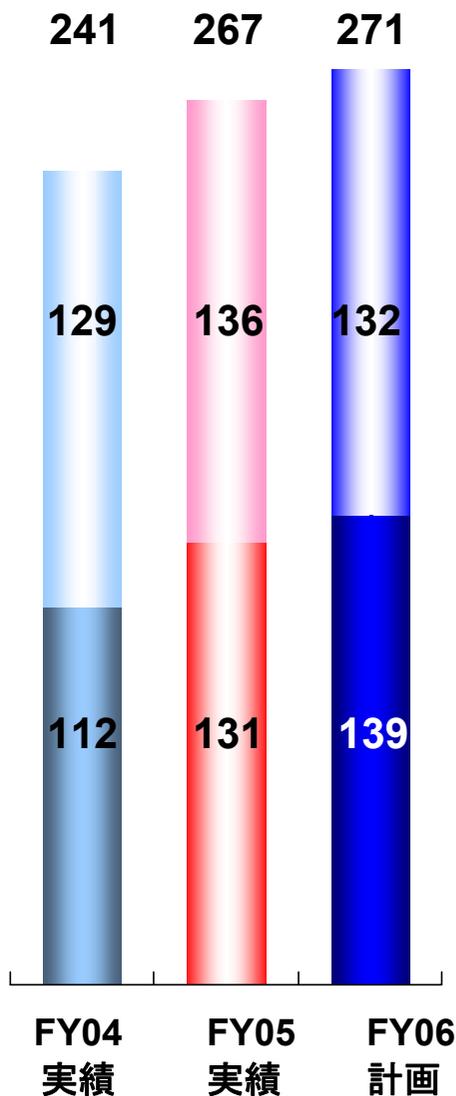
『ECLIPSE SPYDER(エクリプススパイダー)』



『OUTLANDER(アウトランダー)』



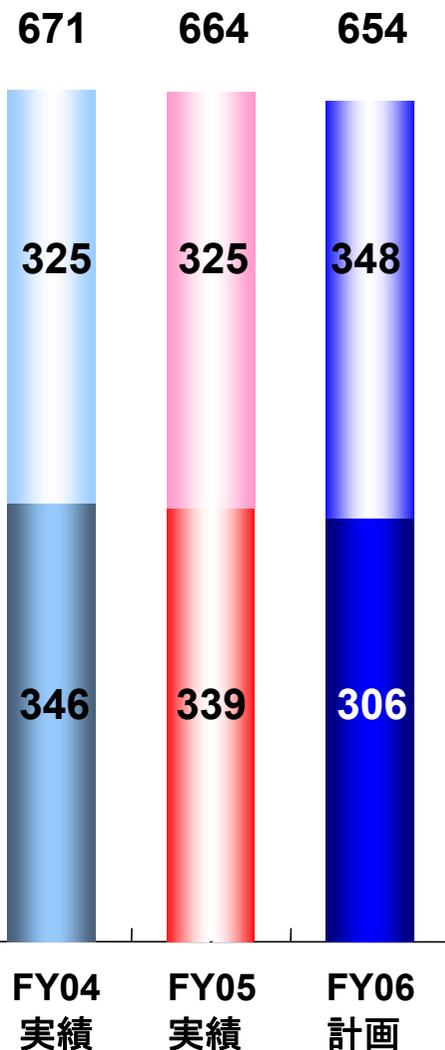
(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



新商品を積極投入

- **新商品の年度を通じた連続投入**
 - ◇ 新型1tピックアップ (06/3月～)
 - ◇ 新型コルト コンバーチブル (06/5月～)
 - ◇ 新型ギャラン (06/9月～) <ロシア等>
 - ◇ 新型パジェロ (06/10月～)
 - ◇ 新型アウトランダー (07/1月～)
- **既存車の拡販**
 - ◇ コルト/ ランサー/ グランディス
- **ドイツ・英国における販売好調維持**
- **成長市場(ロシア・ウクライナ)における拡販**
 - ◇ 新型上級セダン ギャラン投入

(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



安定した収益源

～ 中国で成長の地固め ～

- **中国**
 - ◇ 東南汽車への直接出資(25%)
 - ◇ 当社販売における三菱ブランド車の拡大
(05年度:18% → 06年度:66%)
- **タイ**
 - ◇ 新型1tピックアップトライトン輸出の本格開始
- **中南米・中東・アフリカ**
 - ◇ 主力の新型1tピックアップ投入により拡大継続
- **豪州**
 - ◇ 新型3車種(輸入車)投入・販売強化
 - ◇ 新グレード投入による現地生産車拡販

■商品計画 地域専用車の絞込みとグローバル戦略車拡大継続

■国内工場 水島工場のフル操業への対応

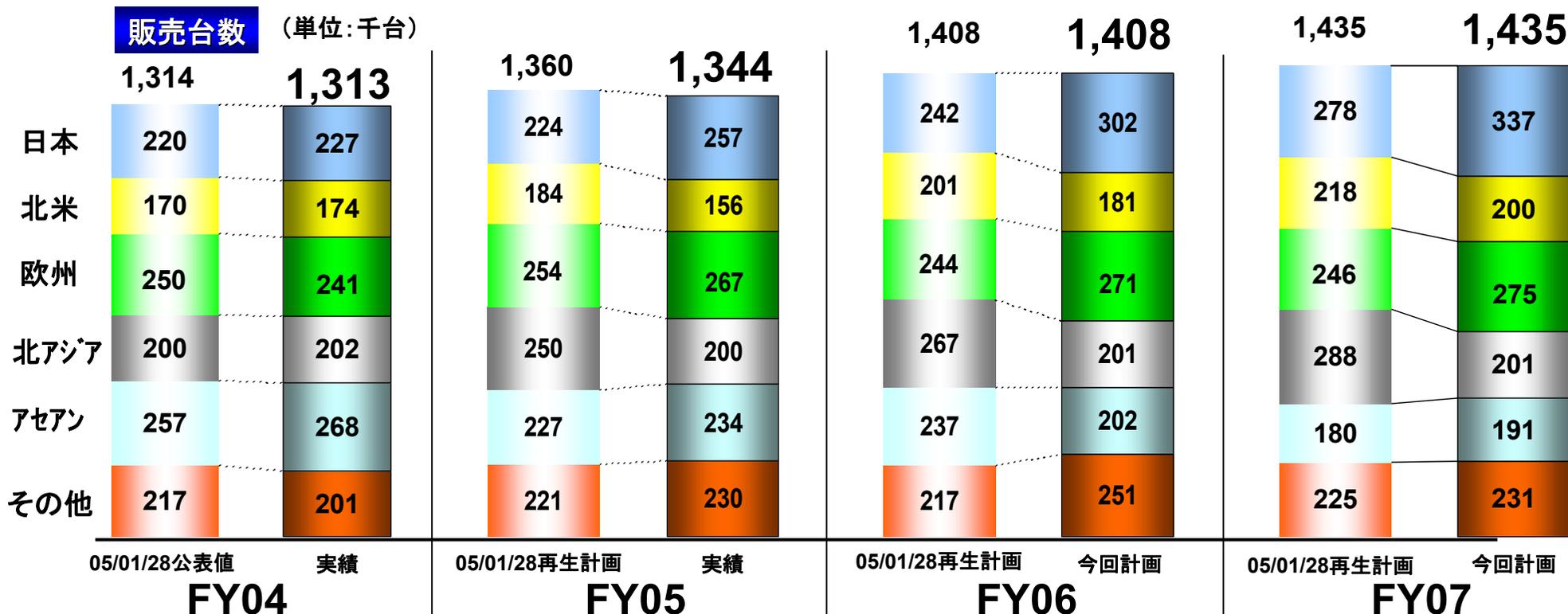
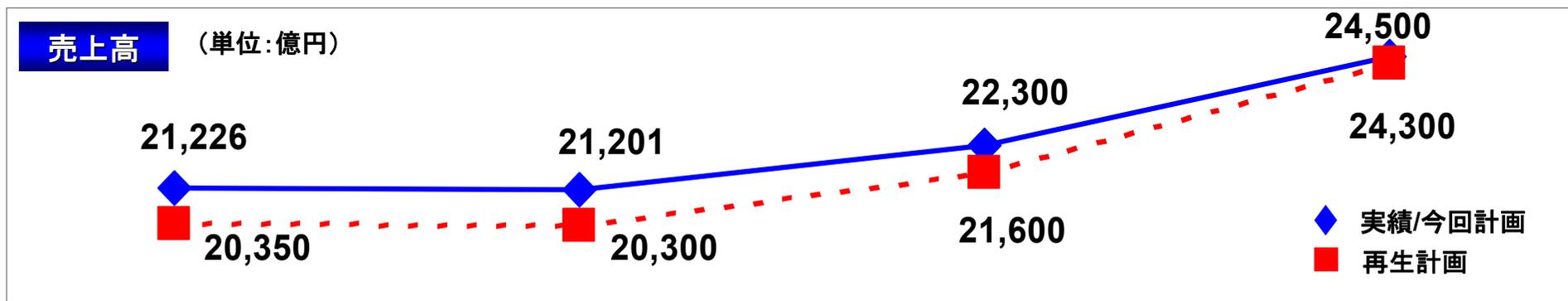
■海外工場 販売に応じた生産能力規模の適正化推進



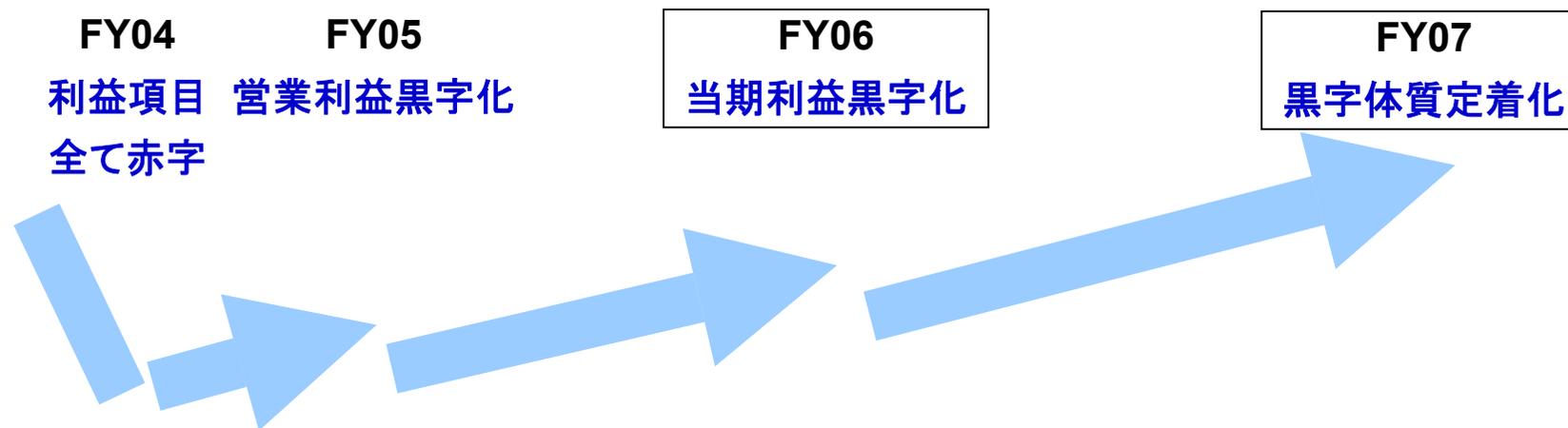
●岡崎工場：水島工場からの一部生産車種移管

●車台削減、新車種投入に合わせてグローバル集中生産を促進

安定かつ着実な成長

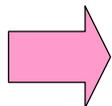


再生計画値を据え置き (2007年度: 黒字体質定着化)



	FY06計画	FY07計画
営業利益	+430億円	+740億円
経常利益	+210億円	+530億円
当期利益	+80億円	+410億円

■2005年度



営業利益は黒字転換

➤信頼回復活動継続

◇コンプライアンス第一／安全第一／お客様第一

➤事業改善

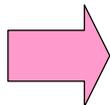
◇販売台数 : 苦戦した北米・豪州を好調な日本、欧州でカバーし、98%まで挽回

◇売上高 : 海外OEMが主因で減少

◇営業利益 : 公表値を上回り黒字

◇当期利益 : 米・豪の追加減損処理などで公表値を下回るが個別事業健全化を促進

■2006年度



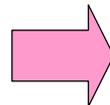
再生基盤の確立

◇販売台数／売上高 : 主要地域での新車攻勢により前年対比増加

◇損益項目 : 全ての項目で黒字

◇岡崎工場 : 水島工場からの一部生産車種移管

■2007年度



再生計画を据え置き

(黒字体質の定着化)

添付資料



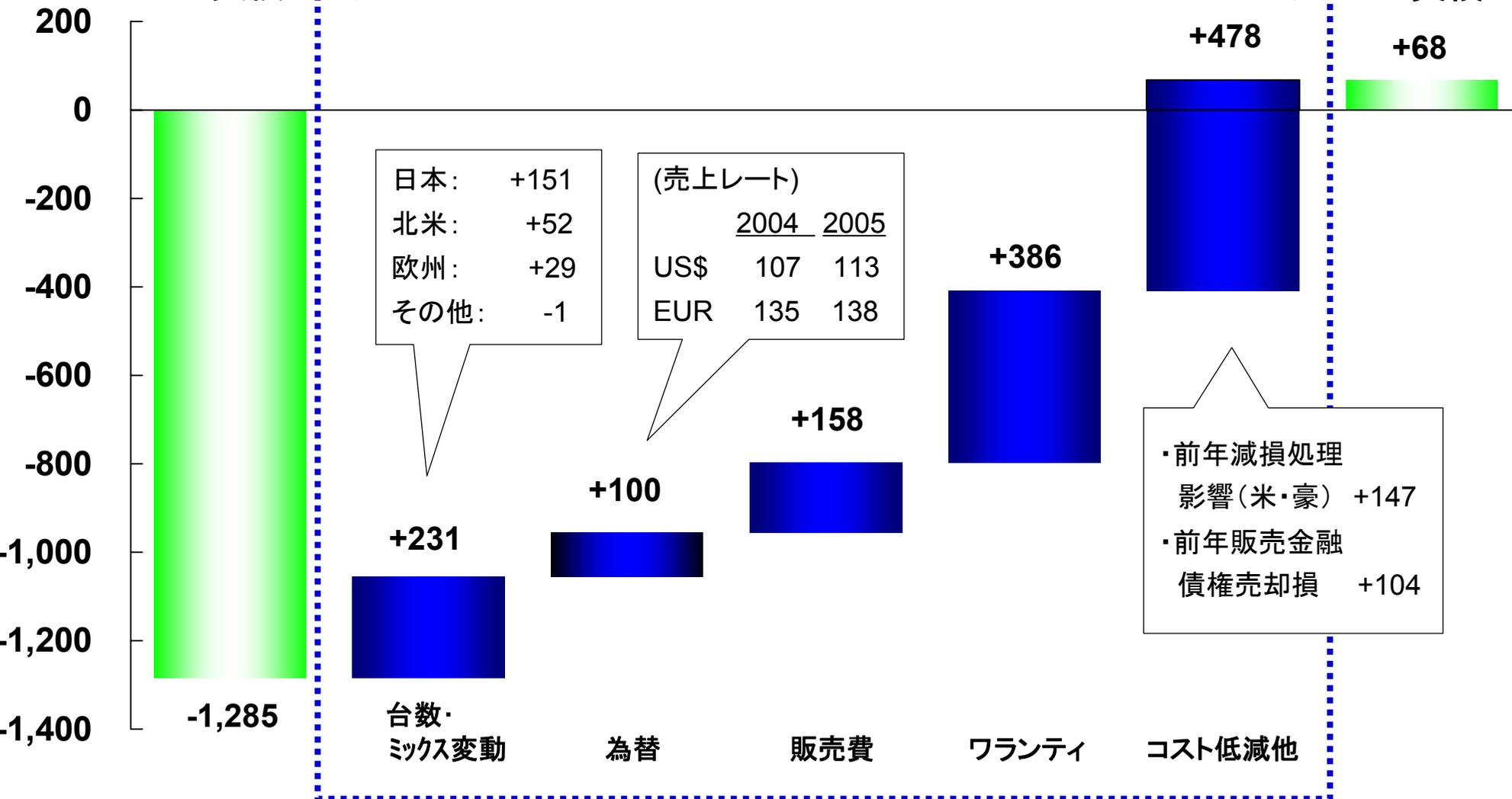
2005年度 営業損益増減分析【前年度実績対比】

(単位:億円)

FY04
実績

差: +1,353億円

FY05
実績



2005年度：地域別業績【前年度実績対比, 05/11/10公表値対比】

(単位：億円)

	FY04 実績①	FY05 05/11/10公表値②	FY05 実績③	増減 ③-①	増減 ③-②
売上高	21,226	22,200	21,201	-25	-999
- 日本	4,129	5,300	5,041	+912	-259
- 北米	4,414	4,300	4,157	-257	-143
- 欧州	6,678	6,200	5,862	-816	-338
- アジア・ その他地域	6,005	6,400	6,141	+136	-259
営業利益	-1,285	-140	68	+1,353	+208
- 日本	-970	-620	-553	+417	+67
- 北米	-1,038	-220	-72	+966	+148
- 欧州	72	100	244	+172	+144
- アジア・ その他地域	651	600	449	-202	-151

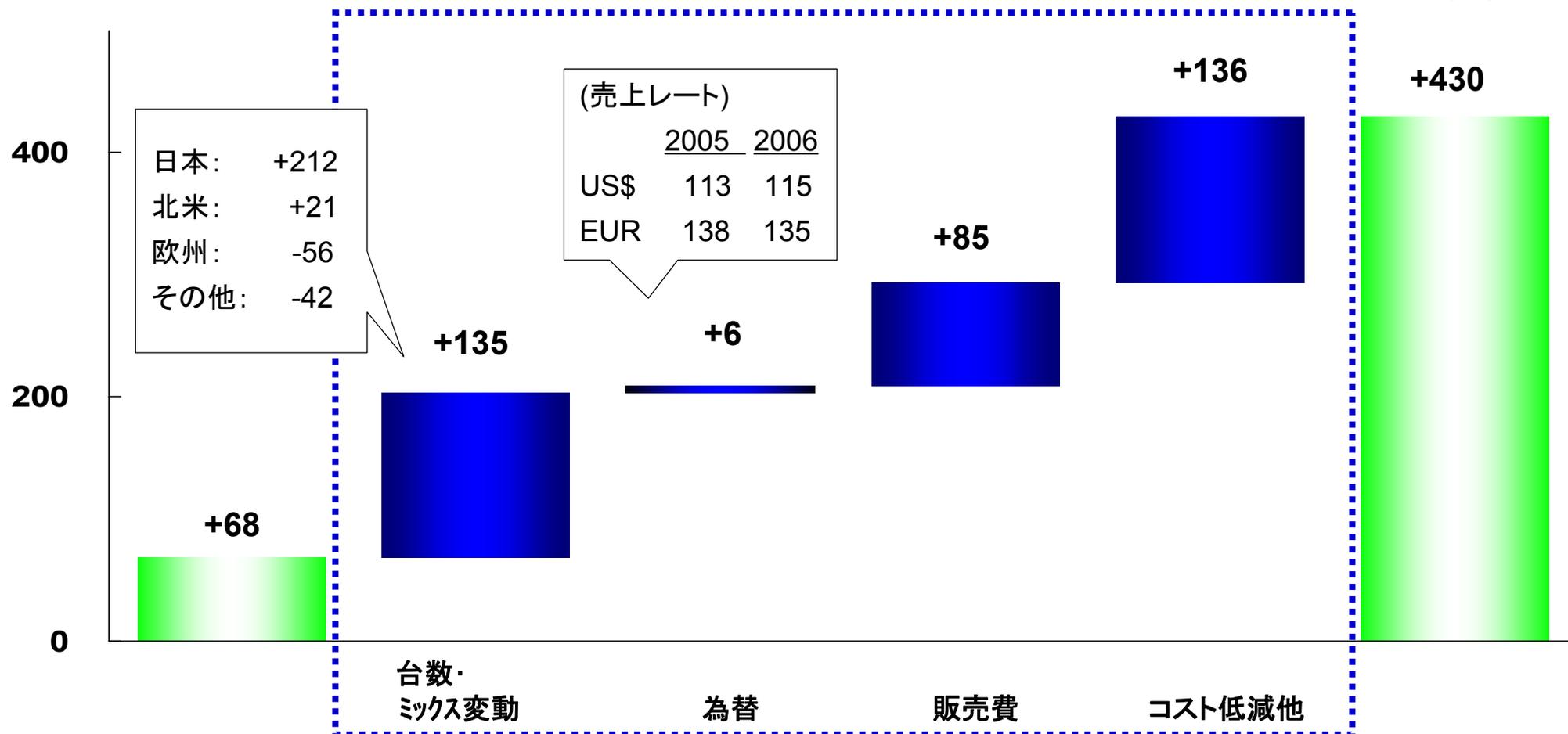
2006年度計画 営業損益増減分析【前年度実績対比】

(単位:億円)

FY05
実績

差: +362 億円

FY06
計画



2006年度：地域別業績見通し【前年度実績対比, 05/1/28公表値対比】

(単位：億円)

	FY05 実績①	FY06 05/1/28公表値②	FY06 計画③	増減 ③-①	増減 ③-②
売上高	21,201	21,600	22,300	+1,099	+700
- 日本	5,041	5,000	5,700	+659	+700
- 北米	4,157	4,900	4,500	+343	-400
- 欧州	5,862	5,200	6,000	+138	+800
- アジア・ その他地域	6,141	6,500	6,100	-41	-400
営業利益	68	430	430	+362	±0
- 日本	-553	-400	-240	+313	+160
- 北米	-72	80	-110	-38	-190
- 欧州	244	-80	260	+16	+340
- アジア・ その他地域	449	830	520	+71	-310

(単位:千台 / 億円)

	FY05/1H 実績	FY05/2H 実績	FY06/1H 計画	FY06/2H 計画
売上高	9,913	11,288	10,200	12,100
営業利益	-198	+266	-90	520
経常利益	-336	+158	-190	400
当期利益	-638	-284	-280	360
販売台数(小売)	659	685	671	737

注: 販売台数はOEMを除く。

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、

- 本計画の各種目標・各種施策の実現可能性
- 金利・為替・石油価格の変動可能性
- 関係法令・規則の変更可能性
- 日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等 があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。